

デイリー・メール オンライン・アーカイブ

Daily Mail Historical Archive 1896-2021

イギリス大衆紙『デイリー・メール』の創刊号から2021年までの記事を原紙のイメージを忠実に再現してフルテキスト検索を可能に



『デイリー・メール』は、1896年の創刊以降、大衆紙としての地位を確立し、20世紀以降のイギリス社会の政治・文化・世論形成に大きな影響を与えてきました。本デジタル・アーカイブでは、創刊号から2021年までの全紙面を高精度にスキャンし、原紙レイアウトを再現。さらに全文検索機能を備え、資料への迅速かつ柔軟なアクセスを可能にします。

アーカイブの特長

- **時代を越えた一次資料**：選挙権拡大、帝国主義、両大戦、戦後再建、EU離脱に至るまで、世紀をまたぐ主要トピックを大衆紙の視点から追跡可能。
- **完全検索対応**：見出し・本文・広告も含めた全文検索が可能。研究・講義資料の作成や歴史的風俗の分析に最適。
- **幻の『大西洋版』も収録**：1923-1931年にかけて太平洋航路の客船で印刷・配布された富裕層向け別冊『Atlantic Edition』を完全収録。現存例の極めて少ない、貴重な歴史資料です。
- **横断的研究に活用**：政治史・メディア史・文化研究・都市史・言語変遷・ジェンダー研究など、多分野における実証研究の基盤データとしてご利用いただけます。



■Daily Mail Historical Archive 1896-2021 価格表

FTE	<5,000	<15,000	<30,000	30,001+
Archive 1896-2021 買い切り	価格は弊社までお問い合わせください			
Hosting Fee 年間管理費				
Subscription 年間購読				

※大学・学術機関向けIPアドレス接続／同時アクセス無制限でのご利用となります。

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

※既存アーカイブ導入校向けのSupplementの買い切り設定もございます。詳しくは弊社まで。

無料トライアル実施中!! 詳細お問い合わせは弊社までお申し付けください

日本総代理店 **極東書店**



FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

<https://www.kyokuto-bk.co.jp>

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531
075(353)2093
092(751)6956

FAX (3265)7531
FAX (353)2093
FAX (751)6956

info@kyokuto-bk.co.jp

Daily Mailはどのような新聞ですか？

✈ 飛行機時代の幕開けを後押し（1906-1910年）

『デイリー・メール』は、英仏海峡横断飛行やロンドン-マンチェスター間の飛行に対して賞金を提供し、航空技術の発展を促進しました。これにより、新聞が技術革新を後押しする存在として注目されました。

✂ 第一次世界大戦前の好戦的報道

戦争前夜、ドイツの脅威を強調する記事を連発し、軍備拡張を主張。世論形成に大きな影響を与え、「戦争を招いたのはドイツ皇帝とノースクリフ卿（創業者）」とまで言われました。

📰 1915年の「キッチナー批判」記事

当時の陸軍大臣キッチナー卿を「砲弾不足の責任者」として批判した記事は大きな反響を招き、発行部数が一晩で100万部以上減少。ロンドン証券取引所では新聞が焼かれる騒ぎにまで発展しました。

🗣 政権獲得前からナチスを好意的に報道

『デイリー・メール』はナチスが政権を獲得し、ドイツが国際連盟から脱退した直後に、ヒトラーへの独占インタビューを実施しました（1933年）



📰 1950年代：戦後復興と王室の話題

- エリザベス2世の戴冠式（1953年）：国民の関心を集めた戴冠式を大々的に報道。王室の華やかさと国民の一体感を演出しました。
- 冷戦と核の脅威：ソ連との緊張関係や核兵器に関する報道が増加し、読者の不安を煽る見出しが目立ちました。

🎸 1960年代：カルチャーと社会運動の時代

- ビートルズ現象：リヴァプール出身のバンドが世界的にブレイクし、音楽・若者文化の象徴として頻繁に取り上げられました。
- 女性の社会進出と“Femail”欄の創設（1968年）：女性向け特集ページ「Femail」が登場し、ファッションや家庭、女性の権利に関する記事が増加しました。



💣 1970年代：経済危機と政治の混乱

- 三日間週（Three-Day Week）とストライキ報道（1974年）：電力制限と労働争議が続く中、経済の混乱をセンセーショナルに報道。
- IRA関連事件：ロンドンやバーミンガムでの爆破事件を大きく取り上げ、治安への不安を強調しました。



🔥 1980年代：サッチャー時代と国際紛争

- フォークランド紛争（1982年）：愛国的な論調でイギリスの軍事行動を支持し、戦争報道で部数を伸ばしました。
- サッチャー首相の政策支持：労働組合との対立や民営化政策を肯定的に報道し、保守的な読者層に訴求しました。
- チャールズ皇太子とダイアナ妃の結婚（1981年）：王室報道の黄金期であり、写真や特集記事が紙面を飾りました。



🌐 EU離脱（Brexit）報道（2016年）

EU離脱を強く支持する論陣を展開し、連日センセーショナルな見出しで読者を煽動。キャメロン首相が編集長の解任を求めるほどの影響力を見せました。



株式会社 極東書店

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp